広報 かじき

全ご家庭に、もれなく配布

第164号

44.2.10発行

発行　鹿児島県姶良郡 加治木町役場

編集　総務課

印刷　吉屋印刷所

春を前に

立春を迎え、暦の上では春がきても、まだ寒さはきびしく、冷たい北西の風が吹きあれます。

季節の変わりめとされている節分の夜を、ご家族で、にぎやかにお過ごしになったことでしょう。

二月という月は、逃げる月といわれるくらい、日がたつのが早く、あっという間に三月を迎えることになります。入学卒業、就職やら、陽春を迎える農作業への準備など、それぞれ手まわしよく片づけましょう。

台湾坊主が発達し、各地で海難事故や強風下での火災が報じられました。旅や釣りには気象の動向に十分の注意が必要ります。月末から春の全国火災予防運動が始まります。お互いに自分の家からは、絶対に火を出さぬことに徹することが大切。

4月就学児の内診，もうすぐ一年生（柁城校）

43年度決算を認定

一般会計 国保特別会計

収入の半分以上は国などの補助

第三回臨時町議会は、さる十一月二十二日から二十九日まで開かれ、おもに昭和四十三年度の一般会計と国民健康保険特別会計の決算について審議しました。

ご承知のように決算とは、この年度にどのくらいの金が町のふところに入って（歳入）、何をするために、どのくらいの金を使って（歳出）、どうなったか（成果や差引額）、赤字か黒字か、などについて町が年度はじめに、予算をたてて行なって来た仕事の一年間のしめくくりをすることです。

□住民の代表、監査委員

決算は地方自治法の【決算】のきまりによって行なわれ、監査委員の監査からはじまります。

①町長は、決算を受けようとする年度の決算書や関係帳簿、証書などの書類を、住民の代表として審査し、意見をのべる二人の町監査委員（議員・民間学識経験者）に提出して、まずその審査を受けます。

②こうして審査を終えた決算書の書類は、監査委員の審査についての意見書をつけて、町長が議会に提出し、議会の認定を受けなければなりません。この際、町長は、その年度内における主な施策の成果を説明する書類、資料なども、あわせて提出します。

③町議会では、決算特別委員会を設けて、提出された関係書類、とくに監査委員の審査意見書をもとにして、内容、成果について十分な審議をなし、その結果を本会議で、はかることになります。

このようにして、慎重な審査を受けた昭和四十三年度の一般会計国民健康保険の二つの決算書は、数字も正確で、内容も正当であるとして、二十九日の本会議で認定されました。

つぎに、決算のあらましをお知らせします。

△一般会計▽

収入は三億八千五百万円（百万円以下四捨五入とする）支出は三億六千百万円で、差引き残額は二千三百万円となりました。

□町税の負担
一人五千三百円

町の財源となる町税は、収入の約四分の一を占めており全体の二五・六パーセントになりますが、やはり加治木町の場合、収入で最も大きなものは、国からもらう地方交付税などのような、他に頼る財源、ほかからもってくる依存財源によって、収入の半分五八・六パーセントが、まかなわれていることがわかります。

町自体で、まかなうことのできる財源（自主財源）のうちの町税について、町民一人あたりの税負担額は五千三百八十一円、一世帯あたり一万八千七百三十九円となります（昭四四・四・一推計人口による）

この額は、会社や事業所などが納めた分も入っていますので、個人が納めた税金について計算すると、実際の負担額は、もっと少なくなることになります。

□たばこの煙で
千五百万円

とくに町税の中で目立つものがたばこ消費税です。

みなさんが町内の店で、たばこを買うことによって、何と千五百八十万円もの大きなお金が、四十三年度の町の財源として入って来ています。

知らず知らずのうちに、たばこを買いながら町づくりのための、だいじな財源つくりをしているわけです。

これからも、ぜひ、たばこは町内のたばこ屋さんで買いましょう小さいことですが町政には大きな協力をされることになります。

□使った予算は
一人一万九千円

町が事業を、すすめていくために要した経費としての総額を、町民一人、一世帯あたりにそれぞれ計算してみますと、一人が一万九千七百五十二円、一世帯で六万八千七百七十一円を使ったことになります。

□町の借金は
二億一千万円

町も大きな借金をかかえています。教育、住宅、道路などの住民福祉のための諸事業をするために四十三年度には二千五十万円もの金を借り入れました。

うちわけは土木関係に四百万円教育六百万円、公営住宅四百九十万円、民生二百五十万円、その他三百十万円となっています。

四十三年度中に、約二千八百万円を返しましたが、まだあとに二億一千百二十二万五千円もの、大きな借金をかかえています。

町民一人が、一万一千円もの借金をもっていることになります。この額からして、借金の大きさがどんなものかが、うかがわれます

△国民健康保険▽

収入は八千百九十八万円（万以下は四捨五入）支出は七千百二十五万円で、差引き残額一千七十三万円の黒字となりました。

収入のうち、国からの補助金が全収入の半分以上の六〇・二パーセントになっています。

保険加入者から納めていただく保険税は、収入の約四分の一強の二六・八パーセントとなっています。

国民保険に加入している世帯数は、二千八百十四世帯、加入している人口は八千六百四十四人（昭四四・三月末調べ）となっており保険税の負担額は一世帯あたり七千七百八十三円、個人負担二千五百三十三円となります。

資料によると一人一年分の税金負担額は平均で二千五百三十三円で、医師に三回か四回かかり、一万二百円のお金を支払ったことになるわけです。

そこで当然足りない分の七千六百六十七円は、国の補助金など、ほかの金でまかなわれているということです。

……おことわり……

グラフなど掲載の予定でしたがすでに「議会だより」や「ぜいのしおり」で、ご存じなので、本紙では勝手ながら省かせていただきます。

カッとする心の動きが事故のもと

運転者向け

NHK鹿児島放送局から

NHKテレビのうつりが悪い

町では、県からの依頼で、昨年の九月にNHK鹿児島放送局のテレビ電波について、よくうつるか、うつらないか、などの調査をしたところ、つぎのような結果がでました。

回答した戸数　四、二九〇戸
○良い（うつる）三、六五三戸
○悪い（うつらない）六三七戸

回答世帯のうちの十四パーセントは、MBCにくらべて、うつりが悪いことを訴えています

町自治会連絡協議会（会長岩元武治）では、このことをとりあげHNK鹿児島放送局に、加治木での受信状態の改善などについて連絡したところ、このほど同鹿児島放送局から「正しい受信のしかた」などについて、次のように寄せてきました。

正しい受信方法で、正しい画面（映像）を見るように、さっそくお宅のテレビも、受信の方法、方角など、変えてみましょう。

加治木町自治会連絡協議会から加治木方面でのNHKテレビの受信状態がよくない…との通報を受けましたので早速、調査しました結果電波の受け方を少し工夫していただけば、鮮明な画像が出ることがわかりました。

そこで加治木町でのじょうずな受信のしかたについてまとめてみました。

加治木町にはNHKの電波は三方向からサービス

昭和三十三年に鹿児島局が開局して、加治木町の大部分がそのサービス区域になりました。だが場所によって、うつりにくいところが残ったため、四十年に姶良局、四十一年に蒲生局（牟礼ケ岡）を開局しました。この三つのいずれかの局の電波を受信していただけば、良好な映像が受信できます。

蒲生局UHF57チャンネル

蒲生局の電波（UHF57チャンネル）を受信するときは、UHF用のアンテナを五メートルから七メートルぐらいの高さで、牟礼ケ岡方向に向けてたてます。

UHFコンバーターのダイヤルを57チャンネルに合わせると、NHK総合テレビ（鹿児島の3チャンネルと同じ番組）。54チャンネルでNHK教育。38チャンネルでは鹿児島テレビ（KTS）が受信できます。

オールチャンネルテレビというのは、一チャンネルから62チャンネルまで受信できるテレビです。これは、UHFアンテナをたてるだけで、38チャンネルも、57チャンネルも受信できます。コンバーターはいりません。

姶良局はアンテナを垂直に

姶良局の電波を受ける場合は、アンテナ素子（横棒）が垂直になるように（鹿児島、蒲生は水平）立てます。ヂャンネルはNHK総合4、教育2、MBCは6チャンネルです。

アンテナとファイダーがいちばん大切です

かりに五十万円もする高性能テレビがあったとしても、アンテナが悪ければ、きれいな画像はうつりません。

アンテナは二、三年たつと、棒が折れたり、サビのため接触不良となって、画像がみだれます。

またファイダー（引込線）も二三年でヒビ割れが入り、そこには塩やゴミがたまると、性態がいちじるしく悪くなります。

とくに雨の日や朝晩、夜つゆがうつころ、画像がうすくなるとかザラザラした雪降り画面になる、ひどいときは画面が流れる、というような場合は、アンテナやファイダーを点検する必要があります

電話は、じょうずに使いましょう。

□電話番号をよく調べてダイヤルを

町内の電話番号は、いま②局と③局にわかれていますが、この局番をよく確かめないで、ダイヤルする場合が多いと、いうことです

町内の電話は、百回に二十五回は目的を果たしていません。電話をじょうずに使うために、つぎのことにご注意ください

百回に六回はダイヤルまちがいをしています。まちがい電話は、料金の無駄になり、呼び出しされた人も迷惑します。

電話番号を確かめてダイヤルは正確に指止めまで、まわしてください。

□ベルがなったら、すぐ出ましょう

百回に四回はベルがなっても応答していません。電話のベルは、お客様の訪問だと思ってください。近くにいる人が、すぐ応答しましょう。お客様を待たせるのは、禁物です。

□ダイヤルしたら三十秒ていどは呼出音を聞いてください

百回に三回は呼出音を一～二回聞いて切っています。ダイヤルして呼出音は三十秒（十回）ていどは聞いてください。あまり早く切ってしまうと、電話機にたどりついたとたん、切れてしまったと、いうことになります。

□お話しは要領よく簡単に

百回に十回は〝話し中〟で断わられています。長話しは、お客様をとりにがしてしまいます。お話しを手みじかにする〝くせ〟をつけておくと、市外通話も安くなります。

□電話のラッシュをさけましょう

電話のラッシュは午前九時から十一時・午後八時から午後十時までの間です。この時間を避けると比較的つながりやすくなります。

□電話番号のPRを

市外からの電話が、かかりにくくなっています。特に市外局番を忘れる人が多く、百回に十五回は市外局番をまわしていません。

いま一度あなたの電話番号のPRをお忘れなく……

▷土地の提供者、鳥井さんに感謝状を贈る曽木町長

◁町民の皆さんはもちろん、地域のかたがたがよく利用され、福祉と教育の実があがりますよう期待します……」と曽木町長があいさつ

写真のページ

福祉センター落成式から

◁万国旗でかざられたホールは招待の町民や団体関係者でいっぱい

△ りっぱなセンターが落成してうらやましいかぎりです……」と来賓のお祝いのことば

▽ 町婦人会寄贈のピアノ開き
幼稚園児のひき初め

▽ ステージ開きで西浦地区民の〝棒おどり〟

好成績、三つの新投票所

衆議院議員の選挙の投票結果

◇　◇　◇

町選挙管理委員会では、これまでの八投票所から、新しく三か所ふやして十一投票所としましたが昨年末に行なわれた衆議院議員の総選挙から、早速この十一の各投票所で、投票が行なわれました。

各投票所の投票率は、表でごらんのとおりです。どの投票所も、かなりよい投票率を示していますとくに注目されるのは、新設された三つの投票所が、町の平均投票率をはるかに上回る上位のパーセントを占めており、やはり投票所をふやして良かったことが、数字の上で明らかとなっています。

町の平均より下回るところは、性応寺、錦江、ひなば、竜門、中野の五投票所となっていますが、なかでも錦江の投票所は、出足がふるわず六八パーセントで終わったことは、ほかの各投票所が七〇パーセント台をこえているだけに残念なことです。

前回の衆院選（昭四二・一・二九執行）の投票率と比べてみますと今回が四・四九パーセントを下回る結果となりました。

でも、最後にいえることは、ただ投票率の向上だけの問題でなく要は、せっかくの権利の行使が無効として処理されるということのないよう、お互いが自覚して正しい投票で、国民の権利を正しく行使したいものです。

各投票所ごとの結果

投票区	投票所	有権者数(人)	投票者数(人)	平均投票率
1	町役場	4.251	3.335	78.45
2	性応寺	1.796	1.316	73.27
3	錦江小	2.727	1.855	68.02
4	中福良	716	575	80.31
5	永原小	761	598	78.58
6	ひなば	223	162	72.65
7	鎮守小	297	258	86.87
8	西浦	348	271	77.87
9	川内	358	287	80.17
10	竜門小	726	546	75.21
11	中野小	338	251	74.26
合計		12.541	9.454	75.38
昭42・1・29執行 衆議院選挙		11.616人	9.278人	79.87%

障害者の皆さん！

くじけずがんばって

畠中さんから〝たより〟

入来町にある国立身障訓練校に入校している西反土の畠中武志さんは、昨年末、募金をそえて次のような、たよりを寄せてきました原文のまま、ご招介します。

前略

加治木の皆様、お元気でお過ごしの事と思います。

私も身障訓練校に来て、早や八か月となり、毎日元気で訓練にはげんでおります。これは、私の心ばかりですが、私より、からだの悪い人たちに、お使いくださいませ。

障害者の皆様、自分は、からだが悪いと思わないで、毎日を楽しくすごし、また良い正月をむかえてください。

なお、皆様も一度は、訓練校に遊びに来てくださいませ。

訓練校について、くわしいことは、県広報紙十一月号の三十八ページを見てくださいませ。

皆様お元気で、サヨウナラ

畠中武志

（おとづれ）文中の県広報紙三十八ページの記事は、来月号に掲載します。

〝広報かじき〟が楽しみ

県外就職者からお礼

あけましておめでとうございます。

日頃は、ご無沙汰ばかりに打ち過ぎ、おわびの申し上げようも、ございません

おかげで社会人として四年目の新春を元気で迎えることができました。ぼんやり者の私には実社会は、なかなかの厳しさですが、こうして四年目の正月を迎えられたことをたいへんうれしく思っております。

毎月、町役場の方から、ていねいに〝広報かじき〟が送ってまいります。鹿児島と三重県との間が遠すぎて、故郷のことは忘れてしまいそうですが〝広報かじき〟によっていろいろと、加治木のことを知らされますので、毎月毎月の〝広報かじき〟がとても楽しみなんです。

どうも、ありがとうございます。

町長さんの、まだまだのご活躍をお祈りしながら、また良い年でありますように。

三重県鈴鹿市庄野町羽山

鐘淵紡績鈴鹿工場　野間幸子

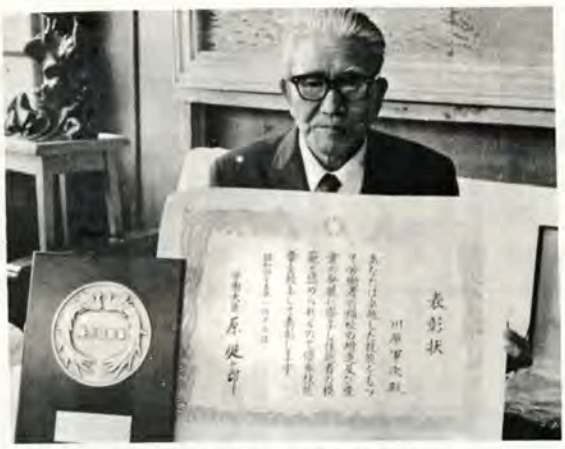
ちゃのばなし

納め過ぎの源泉所得税

早めに還付の申告を

給料や配当などから源泉徴収された税金が、納め過ぎになっているかたは、税務署に確定申告をされると、納め過ぎの税金を還付してもらえます。還付をうけようとするかたは、早めに税務署に手続きをしましょう。

優秀技能者　労働大臣から表彰
おめでとう　川原軍治さん



県下でただ1人の優秀技能者

〝竜門司焼き〟といえば、国内はもちろん海外でもトップクラスの焼きものとして愛好され、有名になっています。

竜門司焼企業組合の理事長、川原軍治さん（67）は一月十二日東京の農協ビル国際会議室で行なわれた、労働大臣表彰に参列するため上京していましたが、晴れの栄誉をみやげに、このほど町役場を訪ずれました

川原さんは、ご存知のように、五十数年もの間、土をこね、ロクロを回し、父祖の焼き物の秘法を守り、受け継いでいます。

なかでも秘法の三彩は、川原さんとともに四十一年十一月、県の無形文化財に指定され、また南日本文化賞や全国民芸展でも金賞を得ています。

今回は、あらゆる分野で優秀技能者として、全国から九十七人が表彰を受けましたが、当町の川原軍治さんは県下からは、ただ一人の受賞者として参列、直接労働大臣から名誉ある証書とタテを受けました。

川原さんは「労働大臣から、ひとりひとりに手渡されるので、一時間近くもかかった。でも自分の番になり直接、大臣から頂いたときは、すっかり感激し、緊張しました。これからは、この名誉に恥ないよう、もっとよい作品を作ることに専念し、竜門司焼きをりっぱなものにしたい……」と、受彰の喜びと抱負を話していました。

県下一の優秀技能者、川原軍治さんおめでとう。

万一に備えての心意気
町消防団出ぞめ式

恒例の町消防団出ぞめ式は、一月十日加治木高校グランドで行なわれました。

ことしは国分自衛隊の音楽隊員（三十五人）を招いて盛大に、はなやかな出ぞめ式となりました。

式に先だち、全消防団員の市中パレードが行なわれ、消防団本部六つの分団、消防車、積込車など延々と続き、町消防団の威容を町民に披ろうしました。

式に移り、団員のきびきびした動作のうちに観閲やポンプ操法、表彰などが行なわれましたが、団員たちは、これから先の災害の無事を願うとともに、万一に備えての心意気を力強く、参加した多くの人たちに見せてくれました。

毎日が火災の起きやすい状態にあるこのごろです。毎日の生活の中で、お互いに自覚し合うとともに、町民ひとりひとりが火の取扱いに責任をもって、火災の予防につとめたいものです。表彰を受けたかたは、次のとおりです。

▼始良、伊佐支部長表彰
向江利治　佐藤慶紀　畠中博
市来原盛五（もと町消防係長）

無理するな遠くに見えても車は速い

▼無火災地区分団表彰
中野分団（三年間）
中央分団（一年間）

▼町長表彰
榎谷貞則　坂元正夫　中野実幸
長谷正治　日高利　杉田秀清
蔵満実　山口静男　緒方巌

▼永年勤続表彰
30年＝松尾直
25年＝中原久男
15年＝東光義　芋ケ迫正男
川村吉弘　寺師栄　檜物実
江口清春
10年＝吉村次男　田中虎男
立山経弘　楠元洋一　橋口嵩
三好之男

▼退職消防団員へ感謝状
黒田武熊　山下健二　宝蔵秋男

▼感謝状（個人協力者）
曲田篤男　山口清

▼感謝状（団体協力者）
山口親男（下嶽部落）田代俊夫
（辺川地区消防後援会）坂元直
（中野部落）

▼消防団長表彰
江口宏光　黒川龍男　吉田進
外村秋男　大宮路福吉　坂元勲

▼町消防後援会連合会長の表彰
神園政則（辺川後援会長）
福元武志（蒲生田自衛消防班代表）市来原盛五（もと、町消防後援会連合会書記）

社協事務局が移転しました

町社会福祉協議会の事務局は、このほど町福祉センター内に移転しました。

今後は、次の行事や事務は、すべてセンター内で取り扱います。

■社会福祉協議会関係
○心配ごと相談
○世帯更正資金の事務
○助け合い資金の事務
○香典返しの事務
○法外援護の事務
○その他、社会福祉関係事務
■長寿会関係の事務
■遺族会関係の事務

総額十二万五千円

歳末たすけ合い募金

昨年末の歳末たすけ合い募金は町民の皆さんがたの、あたたかいご協力によって、募金総額十二万五千八百十三円もの額に達しました。

社協では早速、生活に困っているかたや恵まれないかたがたが、少しでも明るいお正月が迎えられるよう、年内にこれらの募金をお贈りしました。

ご協力ありがとうございました募金額の内訳、配分先などは、次のとおりです。

□募金の内訳

一般募金	一〇三、〇七五円
特別寄贈	一五、三八五円
43年度繰越分	七、二一七円
預金利子	一三六円
合計	一二五、八一三円

□配分先の内訳

要保護世帯	五二、四〇〇円
ねたっきり老人	一七、五〇〇円
老人ホーム	一五、五〇〇円
療養所	一九、八〇〇円
保養院	八、一〇〇円
送料・通信費	一、九八〇円
合計	一一五、二八〇円

配分後、ご寄贈がありました一万五百三十三円は、やむなく一応繰越しとしましたので、ご了承ください。

特志寄贈者は次のかたがたです。

□特志寄贈者（敬称略）

後野フジ　坂元重子　山下初
末永英次　畠中武志　松元奈美子
〃　〃　〃　〃　〃　〃
小竹原薫　柿元蝶　日野良兼　本田キクエ　本田スミエ　西沢博明
野老迫清　キリスト教会　柁城小児童会

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

金額　御遺族　故人

三千円　西ノ原　西ノ原一男（母チョゲサ）
三千円　須崎　杉尾フミ（夫新之助）
三千円　隈原　坂元勉（父秋義）
五千円　港町　柏木多恵子（夫年成）
三千円　楠園　下楠園正（母セイ）
三千円　端山　出下三郎（妹久江）
五千円　向江町　佐藤ミネ（夫軍治）
二千円　鞍掛　松葉瀬明（母クニエ）
三千円　赤谷　山口貞男（母チヨ）
三千円　高崎　内村満（母キン）
一万円　川原　宮原ミカ（夫利彦）
四千円　吉原　吉福助次郎（妻ヒデ）
三千円　天神　池之上アキエ（夫広志）
一万円　田中　石野初（母マンギク）
三千円　今町　谷口徳夫（母キイ）
二千円　姶良町　堀ノ内タカ（姉中村他亀）
五千円　川内　東川内寿男（長男照）
五千円　西反土　今薗エイ（二女トシ子）
三千円　菖蒲谷　久保田行則（父栄新）
五千円　朝日町　塩満マサ子（母ツヤ）
三千円　菖蒲谷　鶴直一（妻キミ）
一万円　本町　佐藤清治（妻アサ）
三千円　朝日町　松田保（母ハツエ）

育英資金へ

二千円　吉原　吉福助次郎（妻ヒデ）
三千円　朝日町　塩満マサ子（母ツヤ）
一万円　本町　佐藤清治（妻アサ）

一月二十六日までの、ご寄付を掲載しました。

随想

陳情

曽木隆輝

一月下旬、私は県のすすめもあって、県や町の予算獲得運動のため上京した。ちょうど新内閣で予算案がきまる前だったので、全国から知事、議長、市町村長、各部課長とか、あらゆる団体代表と、おそらく数万人が集まっていた。

連日あちこちで、何々決起大会とか、臨時大会とかが開かれそれがすむと、国会議事堂、代議士事務所、各省庁には黒山のような人だかりで、身動きもできぬ有様だった。

宿屋という宿屋は満員で、私のいつも泊まる全国町村会館でも毎日、室が変わり最後には大広間や蚕棚のようなベッド室にまで追い込まれるという、あんばいだった。港、縦貫道、地方道そのほか昼間は会議して各省めぐり。夜はまた明日の打ち合わせと、寸暇もない数日だった。こんな多くの地方人が、かりに一人五万円ずつ使えばおそらく数億の金が東京に流れてしまうことになる。

私は、ある放送局のインタビューで「こんなにまでして効果があると思いますか」と聞かれたが、実際問題だと思う。しかし、会って話さないと、なかなか意は通じない。電信電話や速達とたいへん便利になった今日こんなにまでしないと、思うような結果が出ないとは、なさけなく思う。

陳情はお願いであり交渉だ。受ける方も、一応ききおくといったものもあるが、調子のよい所ではまた顔なじみの所では、思ったよりよい結果をもたらすこともある。会っただけのことがあるから一概に無駄といえぬ所が問題だ。つまり魚は家の中に居ては釣れない。やはり海か川、池に出かけなければ駄目だが、陳情とか交渉は、やはり可能性の判断が大事だ。

可能性ありと見たらやはり誠意をもってねばり強く交渉することが大切だろう。

私は陳情を受ける立ち場に立つことも、しばしばだ。民意尊重の意味からできる限りの配慮はしても、いろいろな都合や事情でできない事があることは苦しい。しかし、いずれにせよ、世の人の意の如くならぬことが多いものだと、東京の宿屋のせまい一室で、つくづく思うことだった。